

9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高+債務負担行為額-積立金現在高）は、地方債現在高は減少したものの、債務負担行為額の増加により、対前年度比 37 億 6,184 万 6 千円（0.8%）増加し、4,945 億 6,470 万 2 千円となった。

第 15 表 将来にわたる実質的な財政負担の状況

（単位：百万円、%）

区分	令和 5 年度	令和 4 年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	616,977	643,108	△26,131	△4.1
債務負担行為額 B	113,002	83,046	29,956	36.1
積立金現在高 C	235,414	235,350	64	0.0
将来にわたる実質的な 財政負担 A+B-C <small>（対標準財政規模※20年度から 臨時財政対策債発行可能額を含む。）</small>	494,565 (1.30) <small>※臨時財政対策債発行 可能額を除いた場合は 1.31</small>	490,803 (1.29) <small>※臨時財政対策債発行 可能額を除いた場合は 1.32</small>	3,762	0.8

注）表示単位四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある。

第 11 図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

